

囲碁入門講座通信 令和3年 第39号



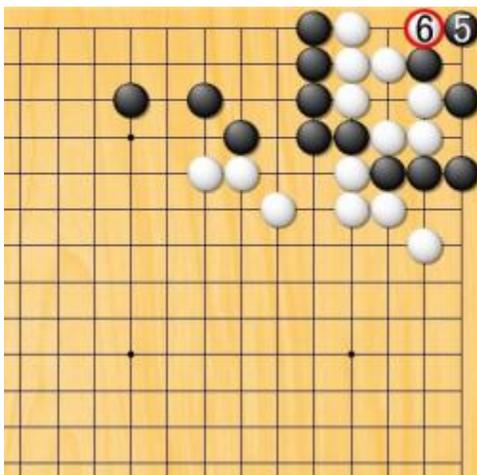
報告:有楽斎

毎月第二日曜日の午後1時半から午後4時ごろまで、朝日2丁目集会所で「囲碁入門講座」に、それなりに一所懸命取り組んでいるのですが、新型コロナウイルス感染を防ぐために、「三つの密」密閉・密集・密接を避けがたく、まことに口惜しところですが、**現在も休局中**です。
(棋士名は椿に因んだ名をニックネームとして表記しています)

今号は入門者用にやさしい攻め合い問題をご案内したいと思います。(監修:太神楽(だいかくら)師匠)
ダメの数では負けでも、手筋の力で石を取る 単純にダメを詰めていくのでは、自分の石が先に取られてしまうような場面で、手筋の力を借りて攻め合いに勝つ手順を考えていただきます。①相手の手数を縮める手筋と②自分の手数を伸ばす手筋の力を借りて・・・

前号(第38号)の続きです 問題5 正解と解説の続き

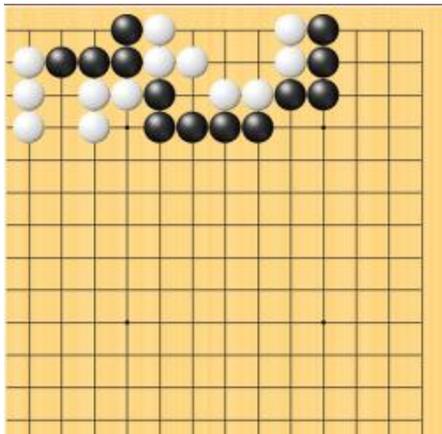
問題5 失敗図2



前号図(失敗図)の後、黒5と白石を抜いても、白6とアテられます。無条件で取れるところをコウになっては失敗です。

攻め合い問題6 黒番

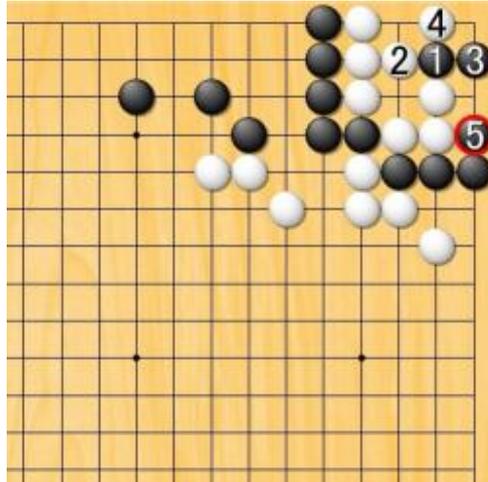
左の黒4子を助けてください。初手は意外な手。



問題は、囲碁上達法(詰碁)より引用しました。

次号は11月10日発行予定です

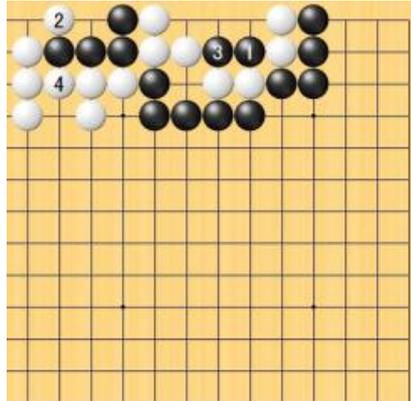
問題5 正解図



黒1、白2の後、黒3とサガるのが正解で、この場合の手筋です。白4で「眼あり眼なし」を防げば、黒5とワタリます。

白4で、3の1路下に打ってワタリを止めれば、黒4と眼を作っても「眼あり眼なし」で勝てますが、黒5と打って白4子をオイオトシでしとめるほうが早く取れます。

問題6 失敗図



黒1は部分的には手筋。白2で3と受けてくれば、その上にハネてウツゲエシの形になるので、うまくいくのですが…。黒1に相手をせず、白2とダメを詰めるともう黒4子は助かりません。

右側の白4子を取れただけでは失敗です。(以下次号) 正解と解説の続きは次号(第40号)でご案内します。